# アンケート調査結果

# 1 調査概要

#### 1 目 的

住民が公民館をどのように利用し、公民館のことをどのように感じているのか等を直接アンケート調査することによって、今後検討する「公民館を核とした地域の社会教育活動活性化策」などの社会教育施策が、より住民の意識を踏まえた有効なものとなるよう役立てる。

## 2 内容·方法

別途行う社会教育実態調査(公民館等を対象とした聞き取り調査)の対象地域内にある小・中学校のご協力を得て、その保護者等に調査票(別紙様式)を配布・回収した。

(県内3地域(東中南予)それぞれの都市部・住宅地・小規模集落で計9地域)

#### 3 回収率等

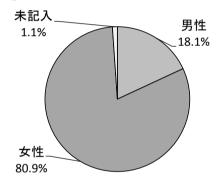
55.1% (回答数 2,371人/配布数 4,304枚)

	都市部		住宅地		小規模集落	
	回答数(人)	配布数(枚)	回答数(人)	配布数(枚)	回答数(人)	配布数(枚)
中予	259	492	679	1,052	80	100
東予	265	530	443	932	33	62
南予	147	322	417	742	48	72

# 2 調査結果

# Q1 アンケート回答者について

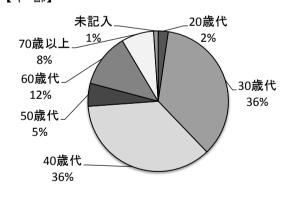
## 【性 別】



回答者の約8割が女性、約2割が男性である。

調査対象者(小中学校の保護者(祖父母、叔父、叔母などの成人も含む))には、当該地域の公民館運営審議会委員を務める学校長を通じて依頼しており、子どもが持ち帰ったアンケート用紙をまず母親に渡すことが多いため、回答者も女性が多くなったものと思われる。

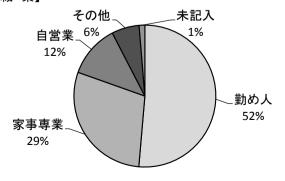
# 【年 齢】



回答者の約7割が30歳代~40歳代であり、約2割が60歳代~70歳代である。

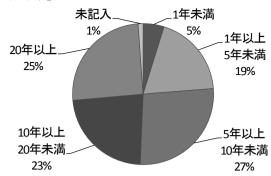
調査対象者となる小・中学校の保護者には、30歳代~40歳代が多く、次に多い60歳代~70歳代は祖父母と思われる。

# 【職 業】



回答者は勤め人が52%で最も多く、家事専業(29%)、 自営業(12%)と続いている。

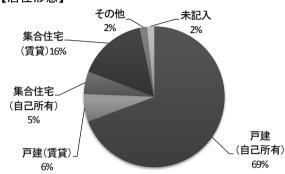
# 【居住年数】



回答者が当該地域に居住している年数は、「5年以上 10年未満」が27%で最も多く、「20年以上」(25%)、「10 年以上20年未満」(23%)と続いている。

10年以上居住している人(48%)と10年未満の居住者(51%)はほぼ同数であった。

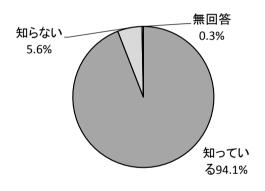
## 【居住形態】



回答者の居住形態で最も多いのは「自己所有の戸建」(69%)であった。

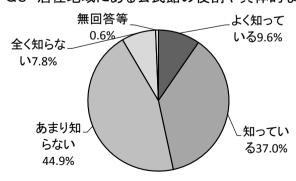
戸建、集合別では、戸建住宅が76%、集合住宅が21%であり、自己所有、賃貸別では、自己所有74%、賃貸22%であった。

# Q2 あなたの住んでいる地区の公民館がどこにあるか知っていますか。(n=2,371)



居住している地区の公民館がどこにあるかは、94.1% の住民が知っていると回答、<u>公民館の場所を知らない住</u> 民は5.6%であった。

# Q3 居住地域にある公民館の役割や具体的な活動内容を知っていますか。(n=2.371)

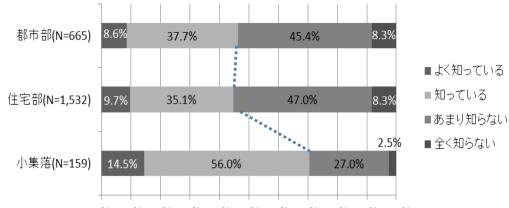


公民館の役割や具体的な活動内容を「よく知っている」(9.6%)と「知っている」(37.0%)の合計46.6%より、「あまり知らない」(44.9%)、「全く知らない」(7.8%)の合計(52.7%)の方が大きくなっており、半数以上の住民が公民館活動に対する正確な知識や情報を持つことができていないことが窺える。

「住民は、公民館のことは知っているはずだろう」と考えないように意識して、役割や活動内容を知ってもらう方策を検 討し、努力する必要

## [参考分析]

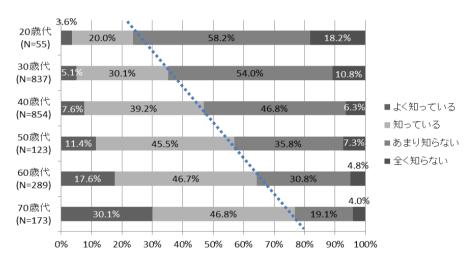
# 1 Q3と地域特性



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

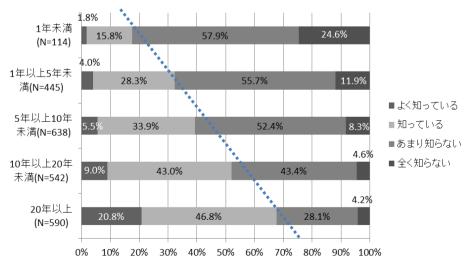
自分の地域の公民館の役割や具体的な活動内容について知っているかどうかについて、回答者の地域特性別にみると、「よく知っている」と「知っている」の合計が「都市部」及び「住宅部」ではどちらも5割を下回っているが、「小集落」では7割を超えている。

## 2 Q3と年齢



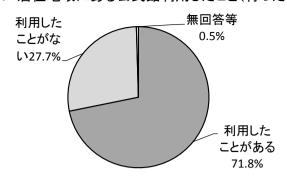
回答者の年齢別にみると、「よく知っている」と「知っている」の合計が「70歳以上」では7割を超えているが、<u>年代が下がるにつれてその割合は低下</u>し、「20歳代」では2割台にとどまっている。

# 3 Q3と居住年数



回答者の居住年数別にみると、「よく知っている」と「知っている」の合計が「20年以上」では6割を超えているが、<u>居住年数が短くなるにつれてその割合は低下</u>し、「1年未満」では1割台にとどまっている。

# Q4 居住地域にある公民館利用したこと(行ったこと)がありますか。(n=2.371)

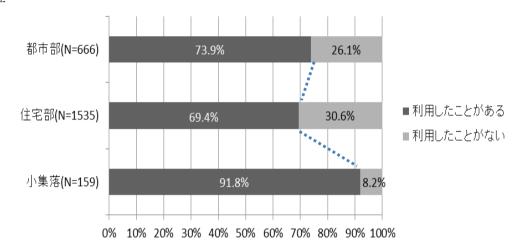


公民館を「利用したこと(行ったこと)がある」との回答が71.8%であり、「利用したことがない」(27.7%)を大きく上回っている。

約3割の住民が公民館を利用したことがないことを どう評価?

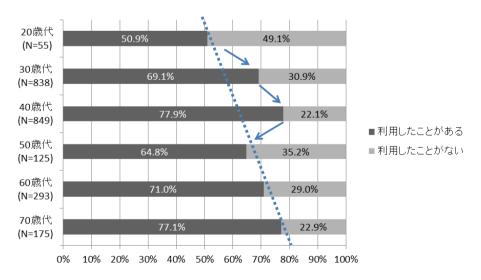
## [参考分析]

## 1 Q4と地域特性



自分の地域の公民館を利用したことがあるかについて回答者の<u>地域特性別にみると、「利用したことがある」人が「小集落」では9割を超えている</u>のに対し、「都市部」及び「住宅部」ではどちらも7割程度である。

## 2 04と年齢



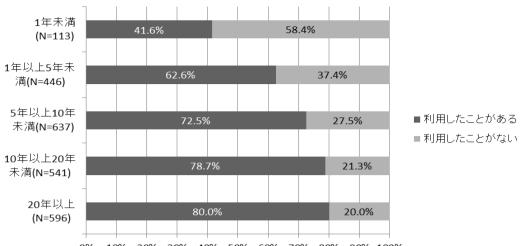
回答者の年齢別にみると、「利用したことがある」人が「30歳代」から「70歳以上」では6~7割であるのに対し、「20歳代」では5割程度にとどまっている。

なお30歳代~40歳代で、「利用したことがある人の比率が一旦上昇し、50歳代で大幅に低下しているのが特徴的である。

30~40歳代は子どもが小・中学校に通学している保護者の世代であることから、学校行事等を通じて地域社会と関係を持っているが、子どもの卒業とともにその関係が途切れている可能性がある。

主に学校と子どもの保護者としての関係により一旦築いた地域社会との関係を、子どもが卒業しても継続できる活動の企画や工夫が、今以上にできないだろうか。

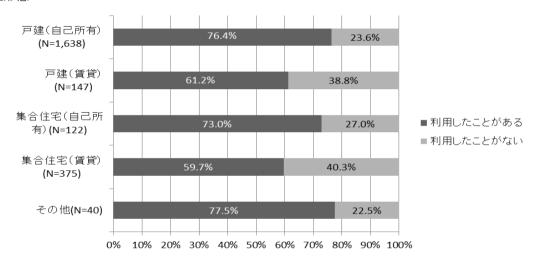
## 3 04と居住年数



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

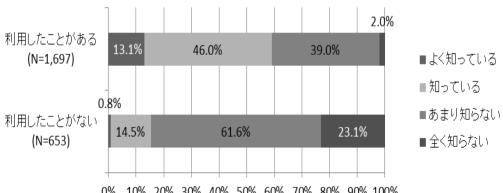
回答者の居住年数別にみると、「利用したことがある」人が「20年以上」では8割に達して いるが、年数が短くなるにつれてその割合は低下し、「1年未満」では約4割にとどまってい る。活性化のためには、居住開始直後(数年以内)における周知や声かけが大切だと窺える。

#### 4 Q4と居住形態



回答者の居住形態別にみると、「利用したことがある」人が自己所有の「戸建」ないし「集 合住宅」では7割を超えているが、賃貸の「戸建」ないし「集合住宅」では6割程度である。

# 5 Q3とQ4

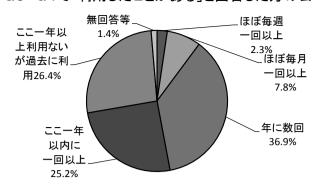


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

自分の地域の公民館の役割や具体的な活動内容について知っているかと、自分の地域の公 民館を利用したことがあるかとの関連をみると、「利用したことがない」人は「よく知って いる」と「知っている」の合計が1割台にとどまっているが、「利用したことがある」人で も6割に満たない。

公民館の利用はしたことがある人の約4割が、公民館の役割や活動内容を正確には知らないが利用している。せっか く利用してもらえた機会に役割や活動内容をPRできれば、次の利用につながったり、公民館活動に引き込んだりする ことができるのではないだろうか。

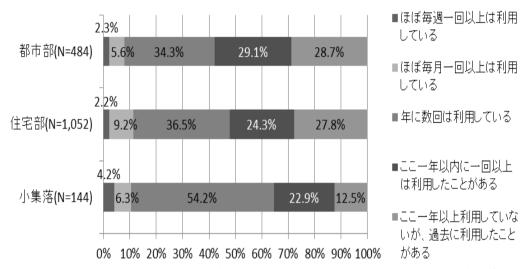
# Q5 Q4で「利用したことがある」と回答した方の公民館利用頻度(n=1,703)



公民館を利用したことがあると回答した1,703人に、その利用頻度を聞いたところ、「ほぼ毎週」(2.3%)、「ほぼ毎月」(7.8%)の合計は10.1%に過ぎず、「年に数回」(36.9%)、「ここ1年に1回以上」(25.2%)、「ここ1年以上利用がないが過去に利用」(26.4%)となっており、公民館活動をしていると言える利用頻度の住民は極めて少ないことがわかる。

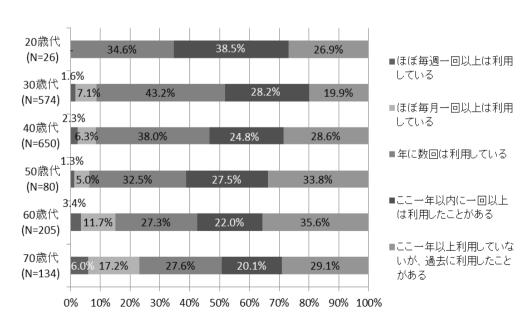
## [参考分析]

1 Q5と地域特性



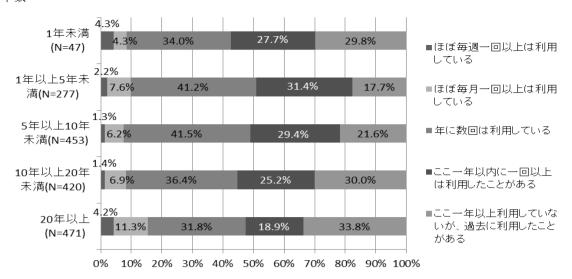
自分の地域の公民館を利用する頻度について回答者の地域特性別にみると、「ほぼ毎週一回以上は利用している」と「ほぼ毎月一回以上は利用している」の合計については地域特性間で目立った差は見られないが、「年に数回利用している」については「小集落」では5割を超えているのに対し、「都市部」及び「住宅部」ではどちらも3割台である。

# 2 Q5と年齢



回答者の年齢別にみると、「ほぼ毎週一回以上は利用している」と「ほぼ毎月一回以上は利用している」の合計が「70歳以上」では2割台であるが、「60歳代」では1割台、「30歳代」から「50歳代」では1割未満となり、「20歳代」では一人もいない。

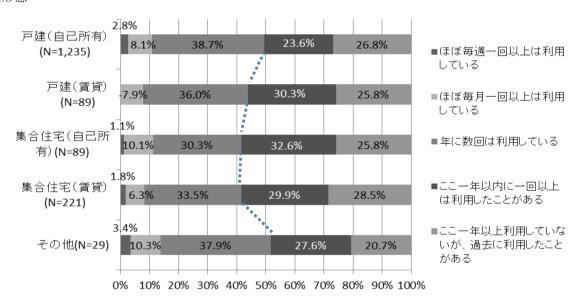
## 3 Q5と居住年数



回答者の居住年数別にみると「ほぼ毎週一回以上は利用している」と「ほぼ毎月一回以上は利用している」の合計が「20年以上」では1割台であるが、その他の年数区分では全て1割未満である。

逆に、居住年数の長い「10年以上20年未満」「20年以上」の人についても、「ここ一年以上利用していないが、過去に利用したことがある」という回答が3割を超えている。

## 4 Q5と居住形態

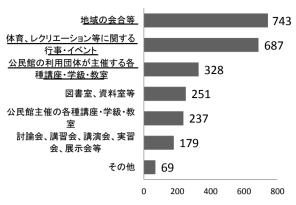


回答者の居住形態別にみると、「ほぼ毎週一回以上は利用している」と「ほぼ毎月一回以上は利用している」の合計が自己所有の「戸建」ないし「集合住宅」では1割代であり、賃貸の「戸建」ないし「集合住宅」では1割未満である。また、「ここ一年以上利用していないが、過去に利用したことがある」との回答は、その他を除くすべての居住形態において25%を超えている。

なお、「ほぼ毎週利用している」「ほぼ毎月一回以上利用している」「年に数回利用している」の合計は、戸建(自己所有)が49.6%で最も高く、集合住宅(自己所有)が41.5%で最も低くなっている。また、公民館活動の周知、声かけを行うにあたり、オートロックの分譲住宅とのかかわり方に苦慮しているとの公民館側の声もある。

賃貸住宅は居住年数が短く、やむを得ない側面があるが、分譲住宅は、基本的に永住する地域住民であるため、これらの住宅環境の変化への対応(つながりの作り方)は、大変重要。

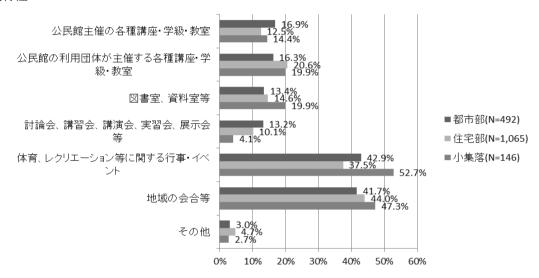
# Q6 Q4で「利用したことがある」と回答した方の公民館利用目的(複数回答可)



地域のことについて話し合う場として多くの住民に 利活用されており、公民館がまちづくりの拠点となっ ていることが推察できる。また、個人の趣味・教養を 高めることを目的とした行事や各種講座・講習会など への参加が多く、逆に、地域が抱える様々な教育課題 への対応や社会の要請が高い分野の学習(各種講座、 講習会など)については、参加が少なくなっている。

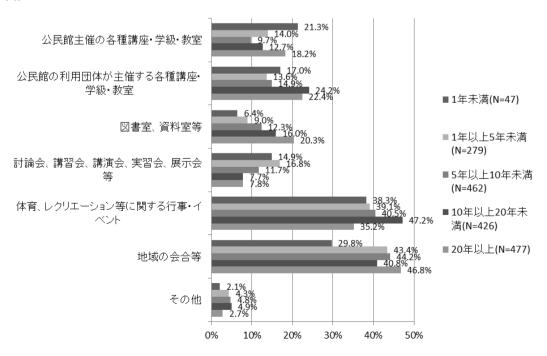
# 「参考分析]

#### 1 06と地域特性



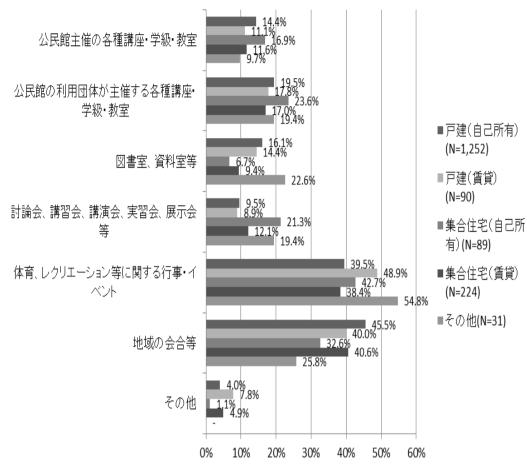
自分の地域の公民館を利用する頻度について回答者の地域特性別にみると、全ての地域特性で「体育、レクリエーション等に関する行事・イベント」と「地域の会合等」がそれぞれ3~5割であり、その他の目的はおおむね2割未満である。

## 2 Q6と居住年数



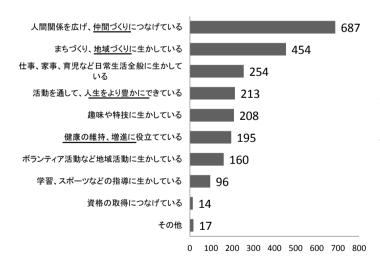
回答者の居住年数別にみると、「図書室、資料室等」は年数が長くなるにつれて割合が高くなっており、その他の目的は年数ごとにばらつきがみられる。

# 3 Q6と居住形態



回答者の居住形態別にみると、どの目的についても形態ごとにばらつきがみられる。

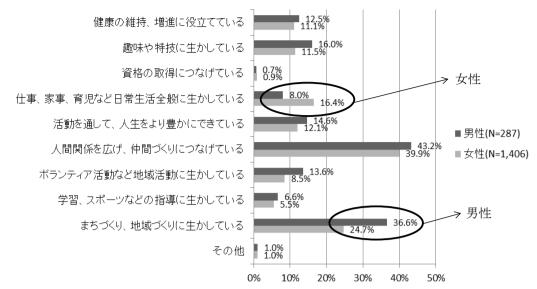
# Q7 Q4で「利用したことがある」と回答した方の知識・技能、経験等の活用(複数回答可)



「人間関係を広げ、仲間づくりにつなげている」(回答数687)、「まちづくり、地域づくりに生かしている」(回答数454)の合計が1,141で回答総数の50.0%、それ以外の回答の合計が1,140で同50.0%となっており、人間関係、仲間づくり、まちづくり、地域づくりなど他者との交流に役立てている側面と、自分自身の成長に役立てている側面がほぼ同数となっている。

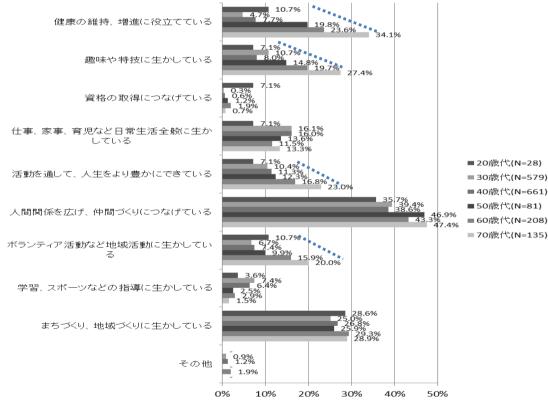
## [参考分析]

# 1 Q7と性別



公民館活動を通じて身につけた知識・技能や経験の活用について、性別で特徴をみると、 女性の方が男性より割合が高いのは「仕事、家事、育児など日常生活全般」の項目であり、 逆に男性の方が女性より割合が高いのは「まちづくり・地域づくり」の項目である。

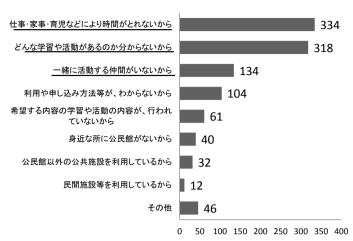
## 2 Q7と年齢



年齢別にみると、どの年代でも「人間関係を広げ、仲間づくりにつなげている」の割合が最も高く、3~4割台である。「20歳代」から「60歳代」では「まちづくり、地域づくりに生かしている」の割合が2番目に高いが、「70歳以上」では「健康の維持、増進に役立てている」が2番目に高い。「20歳代」では「健康の維持、増進に役立てている」と「ボランティア活動など地域活動に生かしている」が、「30歳代」と「40歳代」では「仕事、家事、育児など日常生活全般に生かしている」が、「50歳代」と「60歳代」では「健康の維持、増進に役立てている」が、「70歳以上」では「まちづくり、地域づくりに生かしている」の割合がそれぞれ3番目に高い。

また、「健康の維持、増進に役立てている」「趣味や特技に生かしている」「活動を通して、人生を 豊かにできている」「ボランティア活動など地域活動に生かしている」の項目については、概ね年齢が 上がるほど回答率が高くなっていることが窺える。

# Q8 Q4で「利用したことがない」と回答した方の利用しない理由(複数回答可)

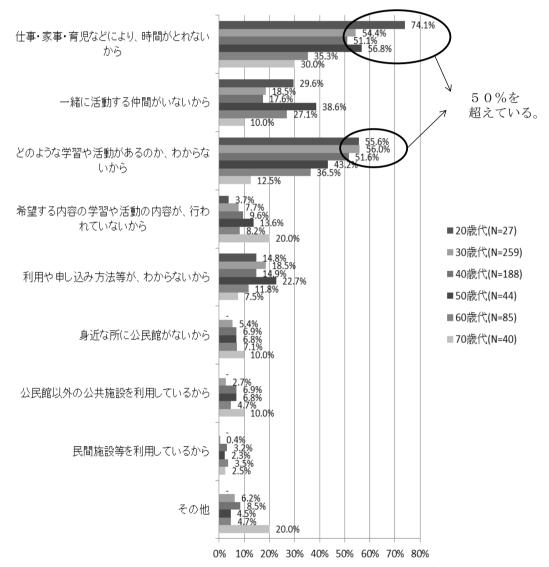


「仕事・家事・育児などにより、時間がとれないから」(回答数334)、「どのような学習や活動があるのか、わからないから」(回答数318)、「一緒に活動する仲間がいないから」(回答数134)の3つの理由の合計が回答数786で回答総数の73%を占めている。

利用の障害となっている理由を少しでも解消するための方策を検討(研究)することによって、 新たな利用者を引き込む可能性は?

## [参考分析]

## 1 Q8と年齢



公民館を利用したことがない理由を年齢別にみると、「仕事・家事・育児などにより、時間がとれないから」の割合が「20歳代」「50歳代」「70歳以上」では最も高く、「30歳代」「40歳代」「60歳代」でも2番目に高い。特に「20歳代」では7割、「30歳代」から「50歳代」でもそれぞれ5割を超えている。また、「どのような学習や活動があるのか、わからないから」の割合が「30歳代」「40歳代」「60歳代」では最も高く、「20歳代」「50歳代」でも2番目に高い。特に「20歳代」から「40歳代」ではそれぞれ5割を超えている。

# Q9 Q4で「利用したことがない」と回答した方の公民館の良くない点

## 前向きな意見

- ・ 幅広い年齢層で活用できるとよい。
- 昼間の活動がほとんどで、参加しづらい。
- どんな学習活動をしているかもっと知らせてほしい。

#### 課題を指摘する意見

- 駐車場がない。
- 建物が古い。
- 古いせまい。
- 地味。
- 興味がもてる講座がない。
- 何に使用されているかわからない。
- ・カルチャースクール。
- 閉鎖的。
- ・ 学習や活動の内容を知る機会がない。
- ・ 10年近く住んでいるが、公民館で何をしているのか分からない。情報がない。
- どのようなことをしているのか分からない。
- ・ 活動内容、教室の内容が少ないと思う。
- ・ 高齢者のイメージが強い。
- ・ 発信力が乏しい。
- ・ 案内が届かない。
- ・ 公民館と保健センターの区別が分からない。
- 何をしているかわからない。何のためにあるのか分からないから答えようがない。
- そもそも公民館が何のためにあるのか分からない。

#### その他

- ・ 利用していない。
- ・ 古くから住んでいる老人が集まっているという印象。
- ・ 新築時に寄付金を出したのに使用できない。
- 住民を置き去りにしている。
- 利用方法が分からない。
- ・ 場所も活動もよく分からないので利用することもない。

## いただいた意見に活性化の可能性?

# Q10 <u>ここが変われば(こういうことができれば)私も地域の公民館を使ってみたい</u>と思うことはありますか。

#### 前向きな意見

- 気軽にできる子どもの習い事のようなこと。
- 縁日、飲み会。
- 季節のイベント、子どもが楽しめるもの。
- 近所の付き合いもなく、きっかけがあればいい。
- ・もっと子供たちが利用できる場所に。
- 魅力あるイベントを増やす。アンケートをとる。
- · 学習や活動内容をPRすべき。
- · <u>もっと知らせてほしい。</u>
- ・ 友人と集まって食事をしたり、子どもたちを遊ばせられる場所であれば。
- ・ 市報や市HPで活動内容を詳しく掲載してほしい。情報量が少ない。
- ・ 何があるかよくわからない。市報以外にも知る方法があればよい。
- 魅力あるイベントの増加。
- 子どもたちを連れて参加できる活動があればよい。
- 子どもや若い人たちが参加できるイベント等があれば。
- ・若者も気軽に参加できるようなイベントや資格取得できる講座があればよい。
- ・ 何か行事のきっかけがあれば、参加できる。(通知等)
- 昼間のイベントや教室があればよい。
- ・ 活動内容を学校のプリントで配布してほしい。
- ・ 利用料や申込み手続き等分かりやすく案内してほしい。
- · もっとPRを。
- 家族で参加できるイベント
- 何かしたくても経済的、時間的な問題で教わったりできにくい人のために公民館で教えてもらえるなら利用したい。

- ・ 活動の紹介をしてほしい。 (利用方法等)
- 子どもが参加できる行事があるとよい。
- ・ 公民館が近くにあれば使ってみたい。
- ・ 公民館の活動内容が分かるように知らせる。
- ・ 年代別に豊富な講座や活動が欲しい。
- ・ 広報に力を入れて欲しい。
- ・ 公民館の建物があるとよい。
- もっとわかりやすく宣伝してほしい。
- ・ もっと情報を発信していただくと、もっと身近に感じると思います。
- 若い世代も楽しめるイベントがあれば。

気軽に参加しやすいイベント、学校との連携、住民への情報伝達など たくさんの前向きな意見に公民館への期待が。

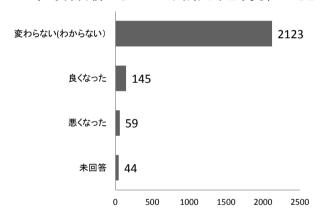
#### 課題を指摘する意見

- 市民のニーズに合った活動をして、PDCAを行うこと。
- お年寄りばかりが利用しているイメージがある。
- ・ 外国籍で日本語ができない方へのサポート、困っている人への支援。互助的な事業。
- 情報発信をしてほしい。
- ・ 知っている人だけの公民館ではなくもっと活動内容をアピールする。
- 公民館=お年寄りが利用するものというイメージがある。もう少し近寄りやすい雰囲気があればよい。
- ・ 普段から地域の人間関係が密であることが大切だと思う。
- ・ 自己満足の活動をやめる。
- ・オープンにする。
- 子どもと一緒に参加できる活動があれば。

## その他

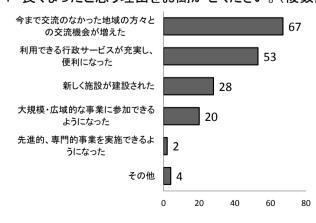
- フィットネスの器具があればよい。
- ・ 無料の短時間託児。
- ・ 時間的な余裕があれば。

# Q11 市町村合併によって公民館は、どう変わったと思われますか。(n=2,371)



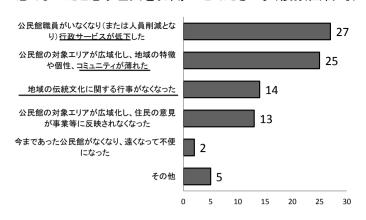
「変わらない(わからない)」(回答数2123)がもっとも多く、回答総数の90.0%を占めている。住民としては、市町村合併によって公民館活動が変化したとは思っていないことが窺える。

# 1 良くなったと思う理由をお聞かせください。(複数回答可)

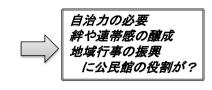


良くなったと思う理由としては、「今まで交流のなかった地域の方々との交流機会が増えた」(回答数67、回答総数の39%)が最も多かった。

# 2 悪くなったと思う理由をお聞かせください。(複数回答可)



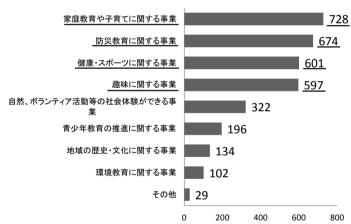
悪くなった点と思う理由は、行政サービスの 低下が最も多く、地域の特徴や個性、コミュニ ティが薄れたと続いている。



# 2-1 上記課題の解決に向けて、ご意見があればご記入願います。

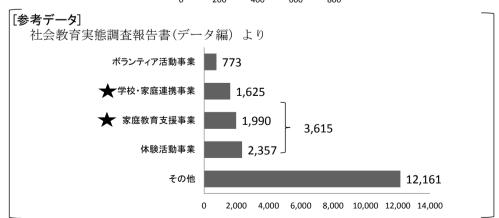
- ・ スタッフの増員、施設の増改築
- ・ 図書館(コーナー)をつくり子どもが利用しやすい場所を提供すべき。
- 無料で簡単な手続きで利用できるとよい。
- ホームページの充実。
- 地域水産業の活性化以外はないような気がする。
- ・ 公民館の必要性をもっとアピールして欲しい。
- 公民館主事のOBの活用。
- ・地域の隅々まで行き渡っていない。
- ・ 人口が少なくなり、何事も大変だ。
- ・ 民生委員の選出はどのようになっているのか。品位に欠ける方がいる。

# Q12 公民館には、今後、<u>どのような分野の事業にもっと力を入れて欲しいですか。</u> (2つまで回答可)



当該設問については、回答総数が3,383と極めて多くなっており、<u>多くの住民が公民館に対して何らかの期待や要望を持っていることが窺える</u>

回答結果で最も多いのは「家庭教育や子育てに関する事業」(回答数728)であり、「防災教育に関する事業」(回答数674)、「健康・スポーツに関する事業」(回答数601)と続いているなど、地域課題に対応することに期待が多くなっている。



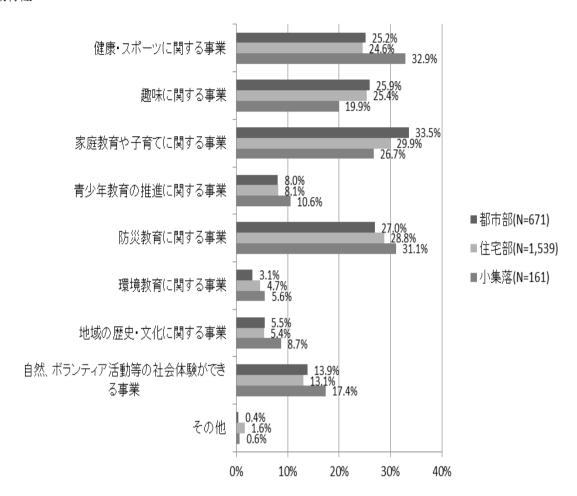
※ その他の主なもの

成人社会体育、伝統文化関連事業、公民館祭り、地域体育大会の練習・準備・片付けなど

主催事業の企画にあたっては、住民ニーズや住民が考えている地域課題の把握にも努め、開催日数や内容に反映させる努力も求められる?

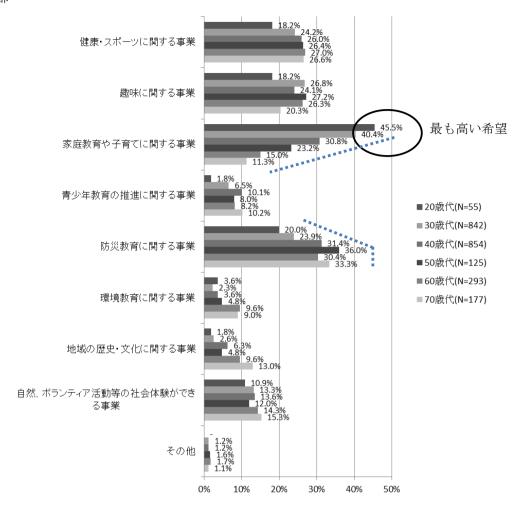
## [参考分析]

# 1 Q12と地域特性



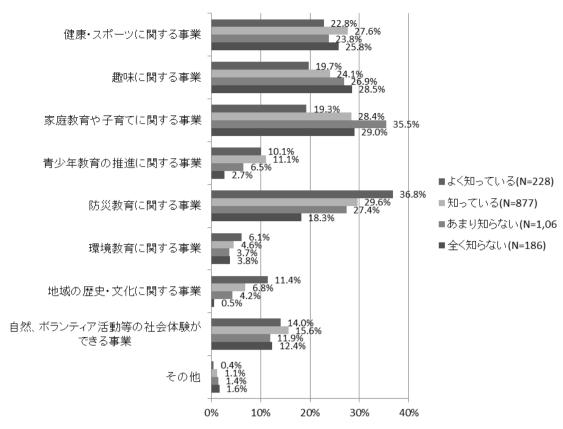
今後公民館にもっと力を入れて欲しい分野の事業について地域特性別にみると、「都市部」及び「住宅部」では「家庭教育や子育てに関する事業」、「小集落」では「健康・スポーツに関する事業」、次に「防災教育に関する事業」の割合が高く、3つの分野は全ての地域特性でそれぞれ2割を超えている。また、「都市部」及び「住宅部」では「趣味に関する事業」もそれぞれ2割を超えている。

## 2 Q12と年齢



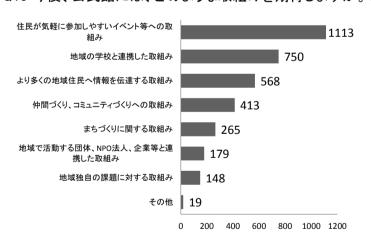
年齢別にみると、「20歳代」「30歳代」では「家庭教育や子育てに関する事業」の割合が最も高く、それぞれ4割を超えており、その他の年代では「防災教育に関する事業」の割合が最も高く、それぞれ3割を超えている。

#### 3 012 2 03



自分の地域の公民館の役割や具体的な活動内容について知っているかと、今後公民館にもっと力を入れて欲しい分野の事業との関連をみると、「よく知っている」「知っている」人では「防災教育に関する事業」の割合が最も高く、「あまり知らない」「全く知らない」人では「家庭教育や子育てに関する事業」の割合が最も高い。

# Q13 今後、公民館には、どのような取組みを期待しますか。(2つまで回答可)

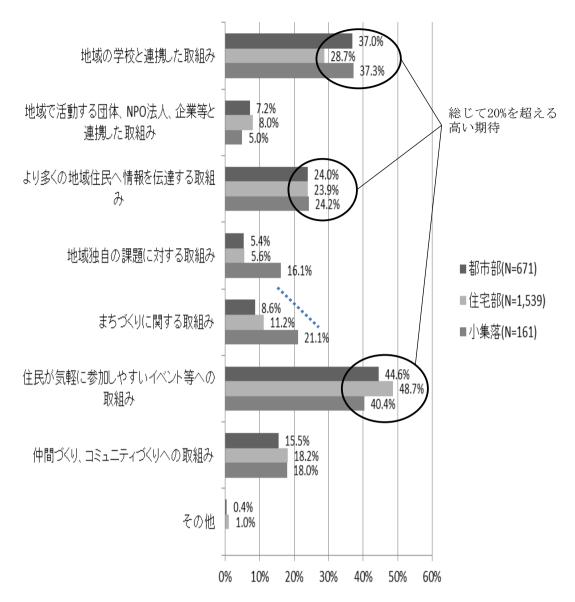


問12と同じく回答数が極めて多く住民が公 民館に期待する気持ちがあることが窺える。 回答結果は「住民が気軽に参加しやすいイベント等への取組み」が回答数1,113で最も多く、「地域の学校と連携した取組み」(回答数750)、「より多くの地域住民へ情報を伝達する取組み」(回答数568)と続いており、この3つで回答総数の7割を占めている。

住民は公民館に対して、「気軽に参加できるよう敷居を下げて欲しい」、「イベント企画を積極的に提案して欲しい」、「地域の学校との連携を進めて欲しい」、「住民への声掛けやPRをしっかりやって欲しい」と 期待している。

# [参考分析]

## 1 Q13と地域特性



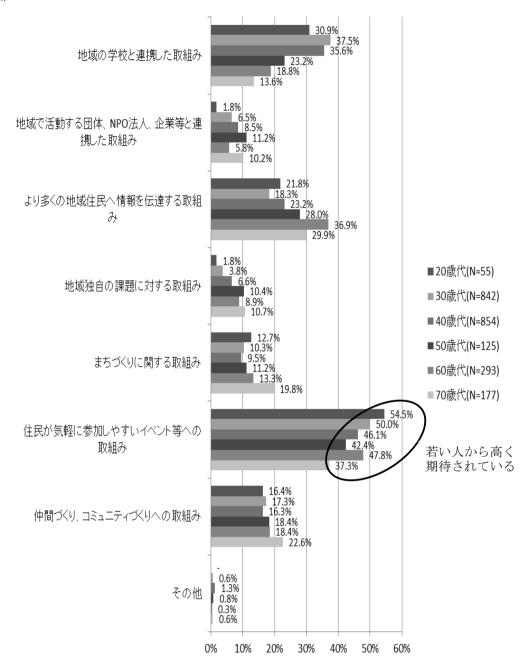
(回答数に占める割合)

今後公民館に期待する取組みについて地域特性別にみると、全ての地域特性で「住民が気軽に参加しやすいイベント等への取組み」の割合が最も高くてそれぞれ4割を超えている。

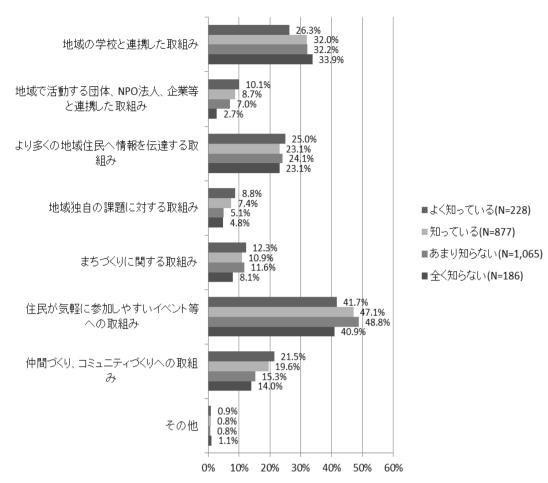
全ての地域特性で「地域の学校と連携した取組み」の割合が2番目に高く「都市部」「小集落」ではそれぞれ3割を超えている。また、全ての地域特性で「より多くの地域住民へ情報を伝達する取組み」の割合が3番目に高く、それぞれ2割を超えている。

さらに、今後公民館に期待する取組みとして「まちづくりに関する取組み」「地域独自の 課題に対する取り組み」を選択している住民は、都市部よりも住宅部、住宅部よりも小集落 の方が多くなっている。

## 2 Q13と年齢



年齢別にみると、全ての年代で「住民が気軽に参加しやすいイベント等への取組み」の割合が最も高く、「20歳代」「30歳代」ではそれぞれ5割、「40歳代」から「60歳代」ではそれぞれ4割を超えている。また、「20歳代」から「40歳代」では「地域の学校と連携した取組み」の割合が2番目に高くてそれぞれ3割を超えており、「50歳代」から「70歳以上」では「より多くの地域住民へ情報を伝達する取組み」の割合が2番目に高くて「60歳代」では3割を超えている。



自分の地域の公民館の役割や具体的な活動内容について知っているかと、今後公民館に期待する取組みとの関連をみると、知っているかの程度に関わらず「住民が気軽に参加しやすいイベント等への取組み」の割合が最も高くてそれぞれ4割を超えている。また、知っているかの程度に関わらず「地域の学校と連携した取組み」の割合が2番目に高くて「よく知っている」以外ではそれぞれ3割を超えている。さらに、知っているかの程度に関わらず「より多くの地域住民へ情報を伝達する取組み」の割合が3番目に高くてそれぞれ2割を超えている。

# Q14 その他 公民館について意見·要望等

## 要望

# 【施設関係】

- 自分が生まれ育った地区には公民館があり、子どものころからたくさん利用した。今住んでいるのが町中なのか利用することがほとんどない。
- ・ 駐車場、駐輪場がなく、車の往来も多く、子どもには危険すぎる。
- ・ 駐車スペースがほしい。
- ・ 公民館の放送が聞こえにくい。
- トイレの改装。
- ・ 網戸が壊れていたり、駐輪場が狭かったり、トイレが和式だったり不便が多い。改善を求める。
- 建物が古い。
- ・ 防音室があれば楽器なども使えるのでよい。
- ・ 早急に新築、改築をしてほしい。公園の管理衛生もしっかりしてほしい。
- ・ 活用できていない。広報をする。災害時に居場所になるのか不安。
- ・ 建物が老朽化し災害時に機能するか心配。
- 公民館の耐震についてはどうなっているのか。公民館で遊んでいる子どもたちは遊びやすいのか。
- ・ 余りにも利用者が多く、手狭なのでは。仕方がないことでしょうが、駐車場が少ない。
- 子どもの遊具が減って残念だと思う。
- ・ 近くの市の公民館は日常から災害時にも地区のコミュニティーの中心となり大切な役割を果たし、地区の住民 からも信頼させているが、当該市では、どこまで災害時に取り組んでいるかが分からない。
- ・ 設備を充実してほしい。
- ・ 施設リフォーム。
- ・ 小学校内にあるので便利。

# 【講座関係】

- 趣味の教室を夜間にお願いしたい。
- ・ 未就学児と高齢者対象が多すぎる。主婦向けのサークルや講座を開設してほしい。
- ・ 高齢者向けや子どもの健診は充実している。講演会や勉強会は大きく広報してほしい。
- ・ 私や子どもが習い事で利用している。市の文化の中心の場として活用できればよいと思う。
- ・ <u>子どもが土、日などに参加できる料理教室や手芸・茶道・華道教室など、色々な趣味の世界に触れて、体験で</u> きるイベントを定期的に行ってほしい。
- ・ 幅広い年齢層が増えるような催しを常に開いて欲しい。
- ・ 絵画教室、福祉について学びたい。
- ・ 主婦向けパン教室と親子料理教室
- ・ パソコン教室(学習)を開催してほしい。
- ・ 婚活運動に力を入れてほしい。
- ・ パソコン教室、料理、アロマテラピー、子どものスポーツに関わることを利用してみたいが、昼の部、夜の部を分けてほしい。
- 現在は、子育て等でなかなか時間を取ることができないが、将来は利用してみたい気持ちはある。各地区の集会所にスポーツや趣味のサークルが出張してくれるとありがたい。

# 【利用方法】

- ・図書館利用の時間を増やしてほしい。返却ボックスは夜間利用可にしてほしい。
- 子どもがよく利用させていただいている。しかし図書室の開放日が少ない。
- ・ 利用するとき誰がどのような手続きをすればよいのか周知してほしい。
- 時間帯を拡げてほしい。利用者が一部の人だけでないように。
- 大事なく終了しましたが、警報が出るような日に、スポーツ少年団の行事が開催されました。小学校体育館、 公民館が避難場所になるはずなので、今後は学校と公民館がきちんと連携をとり、安全のための取組みを重視 してほしい。

## 【子育て】

- ・子どもが安心して遊んで集える場所がほしい。いつも誰かがいる公民館がそういう場所であればよい。
- ・安く子供たちに学習の場を提供してもらいたい。貧富の格差を埋める子どもたちの学習の場を設けてほしい。
- ・ 子供たちにとって安らぎの場所、安心できる場所になればよい。
- ・ 子育てや子ども育成に対するサービスが乏しい。お年寄りにしか利用されない公民館をもっと活用してほしい。
- ・ 子どもへのPRが少ない。公民館が「第3の場所」になればよい。
- ・ 学童保育時間の延長
- もっと子どもを中心にしたイベントをしてほしい。
- 子どもたちが遊び学べる場所であればよいと思う。
- ・ お年寄り向けの行事が多い気がする。

#### 子どもの居場所となって欲しいとの要望

## 【高齢者】

- ・ 高齢者の活躍の場として子どもと関わる空間を公民館にほしい。
- ・ 高齢者の利用ばかりで転入者には敷居が高い。
- ・ 高齢者が今後ボランティア等で青少年健全育成にどうかかわっていくか。少子化問題等勉強会をしてほしい。
- ・ 老後の不安を解消する取組。
- ・地域住民の<u>高齢化が進み、独居老人や老夫婦世帯も増えて1日話し相手もなく生活している方々が多くなっている現在、デイサービス利用だけではなく、まだ自分で動ける方々が気軽に集まって話をしたり、何か行ったりする場所があればと思う。</u>経費、健康管理、安全面等、人手も必要で難しい面が多いとは思うが、<u>元気な高齢者の動ける場として何かできればよいと考える。</u>
- ・ 高齢者対象の「小倉百人一首」鑑賞講座を作ってほしい。
- ・ 土日や平日の夜は家を空けられないことが多い。公民館の活動はそういうときが多くなかなか参加できない。 趣味を習おうと思う高齢の母をつれて行きたく、平日の午後なら参加しやすい。

## 【コミュニティ】

- 近所のつながりになるとよい張り合いのある場所に。
- 後から転入したものも使いやすい雰囲気がほしい。

# 【広報】

- 利用したいと思うような<u>公民館のアピールをしてほしい。</u>
- ・ 公民館の情報が知りたい。
- ・ 情報発信をしてほしい。市の広報でのコーナー開設や公民館便りを発行してほしい。
- ・ 月1回市報に情報が入っているが、もう少し週1回くらい情報が入るようにできないものか。公民館だよりも 地区の情報が少ない。また、市報の中でも公民館だよりのページ数が少ない。
- ・ 広島の土砂災害があり、気にしていたが、<u>「公民館に避難できます」と言われても「公民館てどこ」と戸惑いました。</u>自分自身の無関心もいけないと思うが、公民館が主体となって避難マップなどを作ってほしい。
- とにかくアピールしてほしい。
- ・ 特に講座やイベントの周知や募集はされていないと思う。一方で、<u>これからは課題に即した対応(特に地域づ</u>くり)が必要だと思う。
- ・情報が少ない。お年寄りの人を対象にしたものが多く、もっと楽しいこと、面白いことをしたら人も集まる。 よそから来たもの、若いものにもっと声をかけたりしたらよい。

# 【その他】

- ・ 地域活性の原動力として地域婦人会、青年団の再編成を検討すべき。
- ・ 公民館が地域事務所の中にあり分りにくい。
- 公民館もいいけど、子どもたちの足で行ける公園を作ってほしい。遊ぶ場がなくてかわいそう。公園があったとしても、すぐ道路。飛び出せば車の人から睨まれる。狭い道路なのに、公園の脇なのにスピードを出す車が多すぎ。犬の糞の看板はあちらこちらにあるのに、子ども飛び出し注意の看板は、一つも見ない。公民館も大切だろうけど、子どもたちの安全、遊ぶ場所を作ってほしい。まず、通学路の歩道の確保をしてほしい。危なすぎる。
- 公民館長の私的な考えかたをやめていただきたい。特定の人物が好き・嫌いだけで部屋を貸す・貸さないはいかがなものか。やめてほしいと思う。あたかも自分の所有物のように言うのはどうかしている。
- ・ 公民館長をもっと若い人に代わってほしい。
- ・ 公民館長の青パトの運転が危ない。年齢制限を付けてはどうか(フラフラ運転で見ていてハラハラする) 迷惑するのは保護者だけではなく子ども達。
- ・ お年寄りや子どもへの対応を優しくしてほしい。 (昨年はひどかった。)
- ・ あまりにも公民館のエリア (小学校区) が広く手が届かないように思う。一考する時期ではないか。

# 【意見】

- ・ 利用の多い年上の方中心に動いており、若年の私たちには入りにくい。だれが利用してもよいのに、そのような雰囲気ではない。
- ・ 強制的な取組が多く時代に合っていない。いやになるよ。余計に地域と距離を置きたくなるのでは。
- ・誰もが利用できるはずなのに、いつも利用している人が偏っているイメージがある。
- ・いらない。
- ・ 少ない職員でよくやっていると思う。地域や各種団体も行政に頼るのではなく自主的に活動しなければならないと思っています。
- ・ 地域社会の意見を取り入れて活性を図る。
- ・ 老朽化した公民館の建て替えを組合員のみが負担するのは不公平、全区民であるべきではないだろうか。
- 私達は地域の集会所を公民館と呼んでいる。このアンケートの回答者のほとんどはそのように認識しているだろう。
- ・ 生活が便利になるのであれば利用したい。
- ・ 使っていないことが多いのでよくわからないことが多い。
- ・ 高齢で行事に参加できない。
- ・ 何のための公民館なのか、よく分からない。
- ・ 市町村自治体が消滅するかもと言われている将来、まずは気軽に人が集まり、また、集まるようなバザーや花の即売会などの施策を。あえて言うのなら、堅苦しくない楽しいことを。
- 地域住民への情報発信、地域児童への防犯。
- ・ 公民館の役割がよくわからない。
- ・ 防災の拠点として期待している。
- ・ 現在の状況では存在意義がよく分からない。
- ・子ども教室を毎日利用している。ボランティアや主事さんなどたくさんの方に子どもたちを見てもらい、多くの経験をさせてもらっている。いろいろな行事があり、大人の人とふれ合い、勉強でき、子どもも親も満足している。
- ・ 公民館は小学校と同じ敷地内にあることから、子どもにとっても保護者にとっても身近な存在である。放課後 子ども教室も開いてもらっており、子どもも楽しみにしている。
- ・ 放課後の子ども教室が充実しており、感謝している。
- ・ 利用してないので、申し訳ないが意見が言えない。
- ・ 公民館がどのようにしているのか、今一よく分からない。
- ・ 若いころのように出ることが嫌になりました。昔は、学校関係、趣味関係で場所を借りるにも便利で公民館を利用していたように思います。
- ・ <u>公民館がお世話していただく夏休みの子どもたちの行事に参加させていただいています。とてもありがたいイベントで子どもたちの夏休みの一大イベントになっています。これからもたくさんの企画を楽しみにしています。</u>ただ、公民館を利用したことがあるかと聞かれると、公民館へ足を運ぶ機会はあまりないような気がしてさみしいです。
- ・ <u>公民館と聞いて、正直どこにあるのかもわからないことに気付きました。</u>子どもがいるので、ふれあいセンターや地区の集会所の利用はあっても公民館は何をするところかもわかっていません。どんなところで、どんなことをするのか知りたいと思いました。
- ・<u>私も元公民館主事だが、退職と同時に公民館とのつながりがなくなった。</u>当然のことながら公民館職員の増員 の必要性を感んじている今日、<u>元公民館職員を協力員として活用されたい。</u>
- ・ 公民館利用だけでなく、何事にも出かけるのが億劫になってきた。年を重ねる程に参加することが嫌になって きている。

# たくさんの意見・要望は、公民館活性化への可能性!!